

2016年9月

つづきMYプラザ
TSUZUKI MULTICULTURAL & YOUTH PLAZA

プラザニュース

つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-25-1 ノースポート・モール5階
TEL：045-914-7171 FAX：045-914-7172
E-mail：my-plaza@tsuzuki-koryu.org URL：http://tsuzuki-myplaza.net/

第102号

日本語ボランティア入門講座 開催します!

地域の外国人にとって、日本語教室は“居場所”となっています。そこに必要なのは“日本語ボランティア”です。日本語を学習したい外国人は増えているのに、日本語ボランティアが足りないのが実情です。日本語ボランティア入門講座で基礎知識を学び、共に地域住民である外国人のお手伝いをしませんか？

10/19 (水)

「日本語ボランティアとは」

講師：林田 育美（つづきMYプラザ館長）

10/20 (木)

「日本語の教え方①」

講師：梅澤 理香（つづき日本語サークル）

10/21 (金)

「日本語の教え方②」

講師：川口 世津子（ハンナの会）

※各日、ボランティア教室の見学あり
いずれも 10:30~12:30

詳細はチラシ・HPをご覧ください。



【昨年の様子】

昨年度の参加者も活動を開始しています。



昨年は、来日1年のラチャさん（インド）が日本語学習・日本の生活について、話しました。

【参加者の声】

- 学習者の生の声を聞いてぜひお手伝いしたいと思った。
- タイプの違うクラスを見学できたのがよかった。
- 難しい事を教えるのではなく、すぐに使えることを教えるのが重要だと思った。

オリンピックメダリスト講演会に MYプラザから、青少年がパネリストとして参加!

8月2日（火）、都筑公会堂で、都筑区出身のオリンピック競泳種目背泳ぎ銅メダリスト中村礼子さんをお迎えし、『わたしの夢・みんなの夢』をテーマにした講演会が開催されました。第2部の座談会では、根本ケイコさん（大学2年生）、渡辺真美さん（高校2年生）がパネリストとして参加し、中村さんと意見交換をしました。

都筑区にある横浜国際プールが、2020東京オリンピック・パラリンピックの英国代表チーム事前キャンプ地になる予定です。



ボランティア 登録更新のお知らせ

ボランティア・語学ボランティアの登録は、2年間で更新手続きをお願いしています。更新対象の方には、8月1日からお知らせを郵送しています。

更新希望の方は、用紙にご記入の上、MYプラザ窓口で手続きをお願いいたします。



8月の入館者数：2,064人（2007年12月10日～2016年8月31日までの累積総入館者数：226,169人）

総勢 242 名 はあと de ボランティア 挑戦の夏



中高生による、中高生のための STEP UP プログラム

～小学生の自由研究を手伝いました！～



「はあと de ボランティア」に参加経験のある中高生たちが、1年かけてこのプログラムを企画し、7/29に仲町台地区センター、8/1に北山田地区センターで実施しました。中高生に手伝ってもらった小学生たちは、毛糸のシュシュや卵の殻の絵、牛乳パックの小物入れを完成させ、空気砲の実験を楽しみました。

STEP UP プログラムとは

都筑区にある4つの地区センターとMYプラザは、ひと夏だけでなく5年をかけて、中高生がSTEP UPしながら成長する機会を作ることを目的として連携し、このプログラムが動き始めました。

「はあと de ボランティア」に参加経験のある中高生たちは、その経験を活かし、「はあと de ボランティア」のプログラムを企画する」という活動に取り組みました。

本番までの長い道のり

昨年夏の振り返りで呼びかけに応じたのは中学生11名、高校生8名。早速9月からミーティング開始です。



まずはどんなことができるのかのアイデアを出しあいました。社会について考え、地域を知る必要性を感じるようになりました。「議事録や司会を自分たちで」という自発的な意見も出て、自分の「強み」を見つめることにもなりました。

出された23のプログラム案は、第3回ミーティングまでに「落書き消し」「地産地消メニュー」「自由研究の手伝い」の3つに絞られ、自分たちでそれぞ



れの問題点や課題解決の糸口を探りました。現地を見に行く、地域の方にお話を聞く、という実体験も。

第11回ミーティング

で、今年のプログラムは「自由研究の手伝い」に決定、「地産地消メニュー」は来年に持ち越すことになりました。そのための準備として柚木荏田南祭りに参加し、設備を見て勉強することに。

そして本番前の最終打合わせの日。初回から数えて15回目のミーティングでした。当日の流れと準備物を確認して本番を迎えました。

社会とより深くつながる

参加した中高生たちは企画ボランティアという経験を通じて大きく成長しました。互いを認めて議論を重ね、多様な人と関わり、コミュニケーション力やリーダーシップ、課題発見力と課題解決力を身につけました。これからは「できた」という自信と喜びが、地域に、そして社会に目を向け、自ら行動をおこす支えとなるはず。

このSTEP UP プログラムは卒業後も戻ってこられるものです。継続できるボランティアとして確立するよう、取り組みを続けていきます。

29年度に向けたSTEP UP プログラムは9月25日(日)からスタートの予定です。



それぞれの活動の記録

～小さな挑戦のひとつひとつが、きっと自分を大きくしてくれる～



振り返り

～自分たちの体験の共有、そして新たな発見、次なる挑戦～



それぞれがどんなボランティア活動をし、何を感じ、何を学んだのか、自分の言葉でグループのみんなに伝えました。オリエンテーションよりずっと笑顔が増え、達成感や感謝などを思い思いの俳句にまとめました。

修了証をもらってハイ、チーズ！
中高生のみなさん、小学校5、6年生向け
プレコースのみなさん、お疲れ様でした。

変化する
自然も人も
錦なり

カンボジア
切手で貢献
笑顔生む



ちいさい
みんなが
うれしい
じぶんも
ね

助けあい
世界と
つながる
ボランティア





「はあと de ボランティア」公開講座

「国際大会で通訳ボランティアをすること」を開催しました

8月7日(日)に、神田外国語大学の朴ジョンヨン先生と国際大会ボランティア経験者の佐久間大樹さんをお招きして、「スポーツの国際大会で、通訳ボランティアには何が必要か?」を考えました。通訳ボランティアというと語学を中心に考えがちですが、実は言語だけではなく、さまざまな知識やコミュニケーション能力、主体性、柔軟性が大切であるということがわかりました。



「多文化共生セミナー」

「外国につながる子どもたちの進路を考える」を開催しました

8月17日(日)に多文化共生ネットワークかながわ事務局長の高橋清樹先生をお迎えし、「子どものためにどんな高校を選択するか」をテーマに外国人生徒の高校進学状況、受検までの流れ、進学後の支援などについてお話いただきました。またブラジル出身の農業高校2年徳永ピアンカさんと、フィリピン出身の大学3年、クルーズ ケイ シナコさんが、来日当時の思いや受検にあたり学習支援教室の存在が大きかったことなどを語ってくれました。

地域の役割の大きさを実感し、日本の生活に馴染むように家族を支え、学校とつながり、居場所となる

ことの重要性を感じました。

高校進学をサポートするために！

- 高校進学ガイダンスの参加
- 生徒の状況に応じた高校選択
- 地域学習支援教室へつなぐ
- 高校への保護者の思い込みに注意

将来、農業をやりたいです。私が作ったピーマンです。

最初は日本語が分からずフィリピンに帰りたかったです。



高橋清樹先生



徳永ピアンカさん



クルーズ ケイ シナコさん



都筑・ボツワナ交流児童画展

～ 茅ヶ崎小学校の絵が、ボツワナへ ～

茅ヶ崎小学校3年生の児童画113点が8月16日にボツワナへ飛び立ちました。9月12日から16日までベン・テマ小学校、19日から22日までThapong Visual Arts Centerで児童画展が開催されます。11月には、MYプラザで交流児童画展を開催します。お楽しみに！



つづきMYプラザ(都筑多文化・青少年交流プラザ)

開館時間 平日：午前10時～午後9時
 土日祝：午前10時～午後6時
 休館日 第3月曜日(祝日の場合火曜日)、年末年始
 アクセス 市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン「センター北」駅下車 徒歩3分
 ノースポート・モール5階



特定非営利活動法人 つづき区民交流協会
<http://www.tsuzuki-koryu.org>

編集後記

学校が始まりました！みなさんのこの夏の思い出は何ですか？リオデジャネイロ五輪での日本選手たちの大活躍(メダルラッシュ！)、甲子園、そして…。まだまだ暑いです。体調を整えて残暑を乗り切りましょう。(M.A.&Y.M.)

